

「徳島県公共施設等総合管理計画」(素案)に係るパブリックコメントの実施結果について

令和6年12月11日(水)から令和7年1月10日(金)まで、「徳島県公共施設等総合管理計画」(素案)に係るパブリックコメントにより御意見を募集したところ、3名の方から4件の御意見をいただきました。
御意見の概要と県の考え方は次のとおりです。

番号	いただいた御意見の概要	御意見に対する県の考え方
1	施設の統廃合は、人口の分布を考慮したり、サービスの質の低下を招かないような配慮をしたりすることも必要ではないでしょうか。	人口減少や人口動態の変動、社会情勢の変化により、今後、公共施設等に対するニーズの変化が見込まれることから、県民のニーズに応じた施設の機能を維持するとともに、公共施設等の必要性や有効性など「施設のあり方」を十分に検討し、施設の特徴や地域の実態に応じて、公共施設等の配置・規模・機能の最適化を推進して参ります。また、修繕や改修等の機会を捉えて、質的向上や機能付加等を図るとともに、IoT、AI等のデジタル技術の積極的な活用により、DXを推進し、公共施設等の機能やサービスの向上を図って参ります。
2	県の施設だけではなく、市町村などの施設を活用することや官民連携も考える必要があるのではないのでしょうか。	ニーズに応じた機能を果たせる施設を確保することを前提としつつ、人口減少など社会情勢の変化により、需要の減少が見込まれる施設については、状況に応じ、統廃合や転用・機能再編などの「既存ストック」の有効活用、建替規模の縮小、国や市町村と連携した施設の共用などを検討することにより、持続可能かつ機能的な配置の実現を図って参ります。また、施設の改修・更新、利活用等の様々な場面で、民間の活力を積極的に活用し、官民連携により効率的・効果的にサービスを提供して参ります。
3	長寿命化にも限界があるため、建替を見据えて計画を立てることも考えるべきではないか。	今回の改訂により、各合同庁舎における建替を含めた今後の施設のあり方について検討を進めることや、保健所において他の公共施設との一体的な整備に取り組むこと、家畜防疫衛生センター西部圏域庁舎の整備に向けた検討を進めること、阿波吉野川警察署の新庁舎整備などの取組を進めることなどを記載しており、今後も公共施設等の最適化を推進して参ります。
4	公共土木施設について、デジタル技術を積極的に活用し公共土木施設管理台帳のデジタル化に取り組むなどの維持管理DX推進の方向性や取り組みを示すことは重要と考えます。	今回の改訂により、予防保全型維持管理を進める上で必要となる施設の基本情報や点検・診断結果、修繕履歴等の維持管理情報についてデータベース化に向けた取組を進めることなどを記載しており、引き続き、合理的な維持管理を実施して参ります。 いただいた御意見は、デジタル技術を積極的に活用した効率的な維持管理業務を図る上で、参考とさせていただきます。